

# 県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2019

3

vol.255



## 第66回 福島県酪農青年研究連盟主催 酪農発表大会・酪農講演会 (第4回酪青連酪農後継者支援研修会) 開催

福島県酪農青年研究連盟（会長 斎藤 忠義）主催の第六十六回酪農発表大会・酪農講演会（第四回酪青連酪農後継者研修会）を、二月二十二日（郡山市熱海町「磐梯熱海温泉ホテル華の湯」にて開催しました。この大会は、県内各地の優秀な酪農経営の成果を発表し、それに基づく意見

交換を行い、これによって酪農経営の合理化、そして近代化を推進して、本県酪農発展に資することを目的として開催しています。当日は、会員・関係者約九十名が参加し、盛会となりました。

第66回酪農発表大会

「私がここで生きる意義

〜人生の最期は牛舎で

迎えたい〜」

浜酪農青年研究会

井出 てい子氏

はじめに、浜酪農青年研究会の井出 てい子さんより「私がここで生きる意義〜人生の最期は牛舎で迎えたい〜」という題で発表して頂きました。てい子さんは、共進会と知り合いの酪農家の一言「おめ、川内さ嫁さ行け」がきっかけで、夫の淳さんと出会い結婚。嫁ぎ先の川内村では地元住民や夫の酪友たちが井出さん夫妻を支えてくれたそうです。その後てい子さんは、井出牧場は原発事故で全村避難になった後も、村で唯一酪農を続けていたという話を聞



きました。体がボロボロにな  
りながらも、毎日牧草地の除  
染を行っていた淳さんです  
が、その功績が認められ、農  
業賞を受賞し、てい子さんは  
この賞に恥じない努力を続け  
ようと誓ったそうです。その  
後、被災地で酪農を続けるこ  
とで、自分自身が休業酪農家  
の大きな希望となっていると  
いうことを知り、同時に、今  
までお世話になった方々への  
恩返しを考えた時、今度は自  
分が、今なお避難中の後継者・  
酪農家の家族の方に、自分の  
生活状況などを伝える機会を

作り、一人でも帰還に向け心  
が動いてくれるような活動を  
したいと思つたそうです。発  
表の最後は、夫と穏やかな生  
活を送りながら、人生の最期  
は牛舎でタンクローリーを見  
送つて前のめりで死にたいと  
思っていることと、自分の人  
生を参考に、会場へ向かっ  
て、お嫁に紹介したい人がい  
たら「おめ、あそこ嫁さ行  
け」と言つてみてはどうです  
か、との言葉で締め括られま  
した。

第66回酪農発表大会  
「我が家の更なる飛躍を  
目指す効率酪農経営」  
東北酪農研究会  
安齋 洋志氏

次に、東北酪農研究会の安  
齋 洋志さんより「我が家の  
更なる飛躍を目指す効率酪農  
経営」という題で発表して頂  
きました。安齋さんの取り組  
みとして、達南自給飼料生産  
組合を設立し、点在する飼料  
基盤の合理化と機械設備の負  
担を軽減させ、自給飼料の効  
率的な生産を行うこと、各



種データ・システム (Dairy  
One・AMTS・DMS) を利用し、  
飼料分析・飼料設計・経営管  
理を行うこと、牛群検定と繁  
殖検診を行い、牛の改良や今  
後の乳量を把握すること、う

つくしまもくもくスクールや  
ふくしま酪農まつりなどの地  
域・組織活動に参加し、酪農  
への理解醸成、消費拡大に努  
めていることなどが挙げられ  
ていました。また、今後の目  
標として、生産組合 TMR セ  
ンター事業の展開と、TMR  
が給与可能な機械による更な  
る効率的な経営管理、また安  
齋牧場と生産組合の法人化を

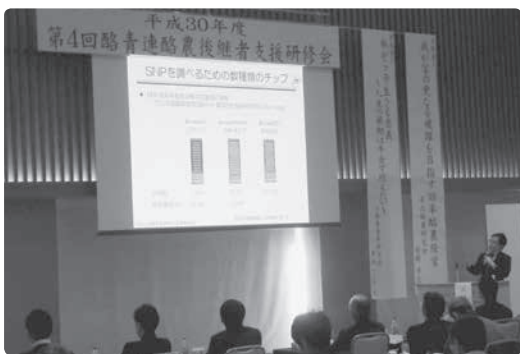
考えているそうです。  
どちらの発表も、発表者の  
お二人の酪農に対する熱い想  
いが伝わってくる素晴らしい  
発表でした。お二人の今後一  
層の活躍をお祈り申し上げま  
す。

また、三月十九(火)〜二十日  
(水)に山形県上市市で開催され  
る、東北酪農青年女性会議主  
催の東北酪農発表大会におい  
て、意見発表の部に井出  
てい子さん、経営発表の部に  
安齋 洋志さんが、福島県酪  
農青年研究連盟代表として発  
表しますので、応援よろしく  
お願い致します。



第4回酪農連酪農後継者支援研修会  
「ゲノミック評価の基本と  
今後の活用」  
北海道ホルスタイン農業協同組合  
登録部改良課  
馬場 俊見氏

発表大会終了後、酪農講演  
会(第四回酪農連酪農後継者  
支援研修会)が行われました。  
講師に、北海道ホルスタイン  
農業協同組合登録部改良課の  
馬場 俊見先生をお迎えし「ゲ  
ノミック評価の基本と今後の  
活用」と題し、ゲノミック評  
価の概要、ゲノミック評価値  
の活用方法、ゲノム (SNP)  
から判ることなどについてご  
講演いただきました。





日本酪農政治連盟  
福島県支部連合会

第五十六回定期総会が  
開催されました



平成三十一年二月五日(火)十一時から本宮市仁井田の福島県酪農協本所会議室で標記総会が開催されました。始めに佐藤金正会長からの挨拶で、昨年十一月には後継者担い手が夢と希望を持てる酪農と未来となるよう諸対策を強く要請する「家族型酪農危機突破！全国酪農民大会」には二十五名が参加した。今回の総会を契機として確実に酪農が持続で



きる政策提言に向かって酪政連が果たしていく決意を述べられました。続いて福島県議会副議長 柳沼純子氏、日本酪農政治連盟東北ブロック協議会幹事長 白鳥建樹氏、福島県酪農協同組合代表理事組合長 宗像実氏から祝辞をいただきました。来賓紹介・祝電披露の後佐藤金正会長が議長となり議事に入りました。

第一号 平成三十年運動報告 財産目録 収支決算書について



第二号 平成三十一年度運動報告 (案) 収支予算書 (案) について

第三号 平成三十一年度会費の賦課並びに徴収方法について

提出議案はすべて承認されました。

第四議案では役員を選任が行われ各支部からの選任の委員候補者並びに監事候補者が選任されました。

委員  
安齋 利勝 田中 一正  
武藤 健之 木目澤次男  
佐藤 弘永 円谷 勝幸



澤田 実  
志賀 隆成  
宗像 実 (福島県酪農協)  
斎藤 忠義 (県酪農青年部)  
監事  
佐藤 健一 柚原友加津  
白土 中 阿部 弘  
また、定期総会後の常任委員会で  
会長他三役が互選されました。

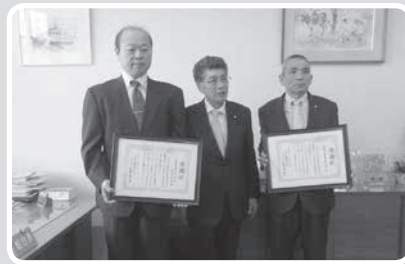
会長  
木目澤次男  
副会長  
佐藤 弘永 安齋 利勝  
幹事長 (会計責任者)  
田中 一正

〈重要な運動並びに推進事項〉

- 1) 東電原発事故からの復旧復興対策の要請運動
- 2) 国際貿易交渉による自由貿易拡大に伴う国内支援対策の継続と拡充
- 3) 飲用向け生産者乳価に関する運動
- 4) 国産生乳の需要拡大対策と牛乳乳製品の消費拡大運動
- 5) 加工原料乳生産者補給金等酪農予算に関する要請運動
- 6) 学校給食用牛乳供給事業制度の維持運動
- 7) ①自給飼料作付けに対する支援要請 ②飼料用米WCS利用促進に対する支援要請
- 8) 高騰している後継牛を確保するための支援要請
- 9) 酪農ヘルパー事業の円滑な運営のための支援要請
- 10) 物流費 (人件費・燃料費等)の上昇に伴う集乳運賃の負担増に対する支援要請
- 11) 酪農政治力の結集と組織の強化



## 平成三十年度北海道胆振東部地震災害に係る酪農復興支援義援金の報告について



平成三十年度における標記酪農被害に対する義援金については、組合員・役員・酪士乳業・らくのう乳販

のご協力のもと足寄町農業協同組合、天塩町農業協同組合、中央酪農会議へ十二月までに拠出をさせていただきました。ありがとうございました。

また、足寄町農業協同組合はお礼状と併せて十二月十三日に本組合に新津賀庸組合長と帯谷悟営農・生産振興部統括部長が来祖され、義援金に対するお礼と災害の復興状況等の報告があり、新津組合長からは「この縁を大切にして絆を深めて参りたい」とあいさつを頂きました。

一月十八日には天塩町農業協同組合の佐藤博幸組合長と佐藤 聡営農部長が来祖され、災害の復興状況の報

告と併せて感謝状を頂戴いたしました。

両農業協同組合からは東日本大震災時に牧草を支援して頂いており、本組合の宗像組合長からは「東日本大震災時に牧草を送っていただいた恩を忘れることはできない、東日本大震災からの復興に向けては前向きに進んでいく」と挨拶しました。



福島県酪農青年研究連盟より

お知らせ

## 「第50回福島県ホルスタインショー」

4月20日(土)福島県家畜市場(本宮市)

にて、開催致します!

平素より、酪農連事業につきましては、特段のご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、福島県酪農青年研究連盟主催のホルスタインショーを、今年の春も開催することとなりました。今年は第50回目の記念大会ということもありますので、例年以上に多くの会員様からの出品をお待ちしております。「第50回」にちなんで、目指せ出品頭数50頭! 出品者にはなんと、豪華記念品を贈呈する予定となっております…!

また、大会中には、子ども達を対象とした「ジュニアショー」やビンゴゲームも開催致しますので、元気な子ども達の参加もお待ちしております。

本大会は、子供から大人まで楽しめる大会となっておりますので、応援も含め、多くの会員様の参加をお待ちしております。是非皆さんでこの記念大会を盛り上げましょう!

## 第50回福島県ホルスタインショー

- 期 日 平成31年4月20日(土)  
開会式 10:00~  
第1部審査開始 10:30~  
ジュニアショー 11:30~
- 場 所 福島県家畜市場(本宮市関下)
- 審査委員長 福島県農業総合センター畜産研究所 所長 様
- 審査委員 シーメックス アライアンス社  
プロダクト アクイジション スペシャリスト ポールトラップ 様

※大会の詳細については、各支所・酪農研究会事務局までお問い合わせ下さい。



第49回福島県ホルスタインショー審査風景



ジュニアショー





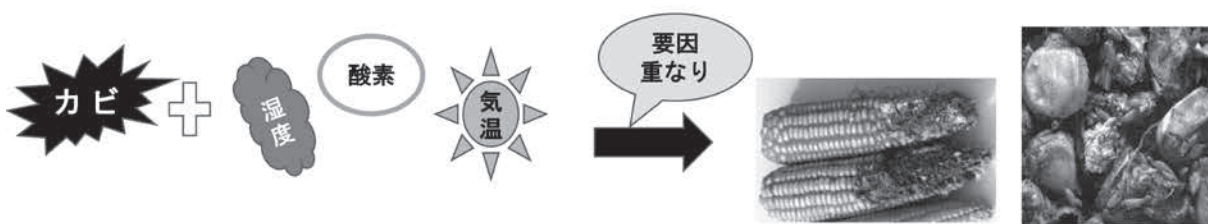
# 全酪連の小窓 3月号 ～カビ毒について～



いつもお世話になっております。インフルエンザが猛威を振るいましたが、皆さんはお元気ですか。今年は暖冬だったため、春の足音も早く聞こえてきそうですね。暖かな陽気はうれしい限りですが、同時に気になってくるのが「カビ毒」ですね。皆さんも飼料分析等で気にしているかと思いますが、今回は「カビ毒」がどのようなものなのかもう一度復習しましょう。

## Q.そもそもカビ毒って何ですか？

カビから産出される毒素の総称を表し、別名「**マイコトキシン**」とも呼ばれています。「カビ毒」は化学物質であるため人の目で確認することはできません。人や家畜に対して**急性もしくは慢性的な生理的あるいは病理的障害**を与えます。この「カビ毒」は現在、全世界で約400種類もの存在が報告されています。



## ○牛への影響が大きい3つのカビ毒

産出されるカビ毒の名称	対象となる飼料	基準単位 (mg/kg)	発生の可能性がある障害
アフラトキシンB 1	配合飼料（牛用（ほ乳期子牛用及び乳用牛用を除く））、とうもろこし	0.02	発がん性による肝機能障害
	配合飼料（ほ乳期子牛用）	0.01	
ゼアラレノン	家畜に給与される飼料	1	流産等各種の繁殖障害
トリコテセン (デオキシニバレノールなど)	生後3か月以上の牛に給与される飼料	4	嘔吐・軟便・下痢・血便・鼻水
	家畜等（生後3か月以上の牛を除く）に給与される飼料	1	

## ○アフラトキシン

- ・地球上に存在するカビ毒の中で最も強力な経口発がん性物質。
- ・発がん性をもち肝臓障害などを引き起こすが、体内への残留はほとんどなく、体外へ排泄（糞尿や乳汁）される。（飼料から乳汁中へのアフラトキシン移行率は2%程度）
- ・アフラトキシンに汚染された飼料を摂取した乳牛は、乳汁中にアフラトキシンM1として泌乳されると言われている。

日本では輸入段階および国内流通段階において、厳格な検査体制が整っているため検出されたとしても微量（人畜に影響ない程度の0.01ppm以下）。

## ○トリコテセン系カビ毒（デオキシニバレノールなど）

- ・家畜の粘膜に影響するため、嘔吐・軟便・下痢・血便・鼻水をもたらす。
- ・日本を含む温暖寒冷地域の土壤に広く分布。
- ・自給飼料での検出率はデオキシニバレノール（DON）を中心に高く、特にコーンサイレージから検出されることが多い。

## ○ゼアラレノン

- ・外陰部肥大等の擬似エストロゲン症状を引き起こし、流産等各種の繁殖障害の原因となり、畜産経営上問題となっている。
- ・フザリウム菌により産出され、日本を含む温暖寒冷地域の土壤に広く分布。
- ・自給飼料からの検出率は高く、特にグラスサイレージから検出されることが多いようです。



これらのカビ毒に対して有効な手段が、、、

**「マイコまいっちゃん」**（カビ毒対策混合飼料）

～特徴～

- ①アフラトキシンを吸着する「ケイソウ土」
  - ②ゼアラレノン吸着する「酵母細胞壁」
  - ③デオキシニバレノール等毒素を緩和「酵母由来酵素」
- 1頭当たり20～50g/日の給与であらゆるカビ毒に対応可能

お問い合わせは

福島県酪農業協同組合 購買畜産課・各支所／事業所  
または、全酪連スタッフまでお気軽にお寄せください！！

# ZENOAQ コーナー Vol.171



## 最近の繁殖成績は 如何ですか

〒963-0196  
 福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1  
 日本全葉工業(株) 福島営業所  
 TEL024-945-2306 FAX024-945-9345

### 特集：繁殖のビタミン「β-カロテン」について

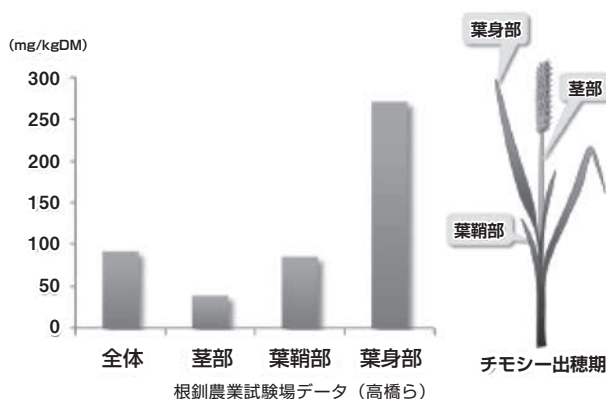
一般的にβ-カロテンはビタミンAの前駆物質として知られており、ビタミンAと同様に、リンパ球や食細胞の膜保護により免疫機能を向上させることや乳房炎および胎盤停滞などの疾病発生を防ぐ役割があります。また、β-カロテン単独での卵巣機能への作用として、発情周期で変動することや、黄体や卵胞機能との関係が知られています。

### ■ご存じでしたか？

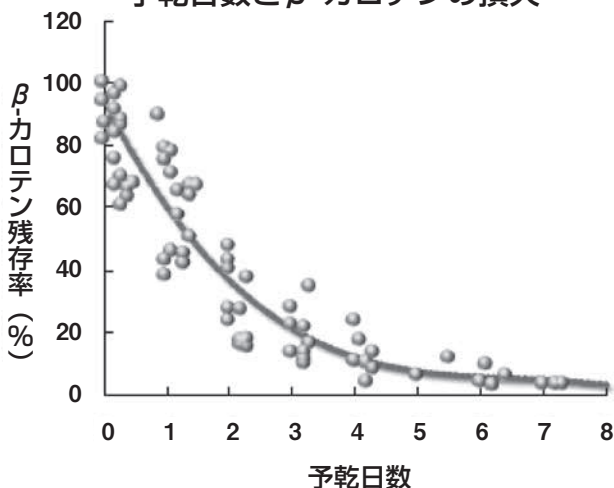
牛の飼料の中で、最もβ-カロテン含量が高いのは**生草**、次に多く含まれているのは品質にも左右されますが、グラスサイレージで、コーンサイレージや乾草にはあまり含まれていません。

ビタミンAとは異なり、β-カロテンには過剰症はなく、牛において利用されないβ-カロテンは、主に血液や脂肪組織、肝臓黄体に貯蔵され、また乳へも移行します。そのため、放牧飼養されている牛では、血中β-カロテン濃度は非常に高くなりますが、逆に乾草やコーンサイレージ主体で飼養されている牛ではとても低くなり、生草や品質の良いグラスサイレージを摂取していない高泌乳牛ではβ-カロテン不足が懸念されます。

### 牧草中の部位別β-カロテン濃度



### 予乾日数とβ-カロテンの損失



### 飼料調製の違いとβ-カロテン濃度

エサの種類	予乾日数	乾物中のβ-カロテン濃度	
		調整時	給餌時
中水分サイレージ (水分65%)	1日	305mg/kg	176mg/kg
低水分サイレージ (水分40%)	4日	30mg/kg	25mg/kg
乾草	6日	22mg/kg	4mg/kg



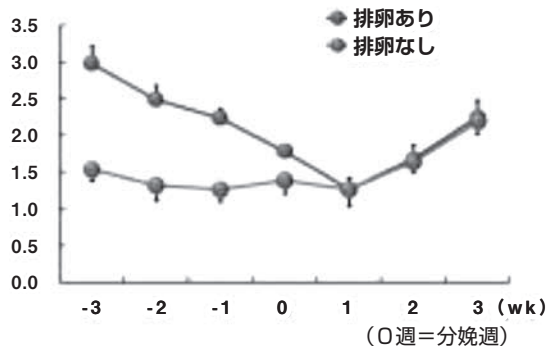
## ■繁殖成績を良くするためにはやはり乾乳牛

乾乳期にはエサの摂取量の低下やβ-カロテンが初乳への移行するために、血中濃度は分娩に向けて低下し、分娩後1～2週目に最低値になります。

これは分娩後の負のエネルギーバランス（乳生産で消費するエネルギーに対して、エサからの摂取エネルギーが不足している状態）の動態と非常に類似しています。

これまでの研究発表では、この分娩後の負のエネルギーバランスの程度が大きい場合、分娩後の卵巣機能回復が遅れることがわかっていますが、エネルギーを補給するだけでは、卵巣機能回復を早めることが出来ないこともわかってきました。

血中β-カロテン濃度の変化（図1）

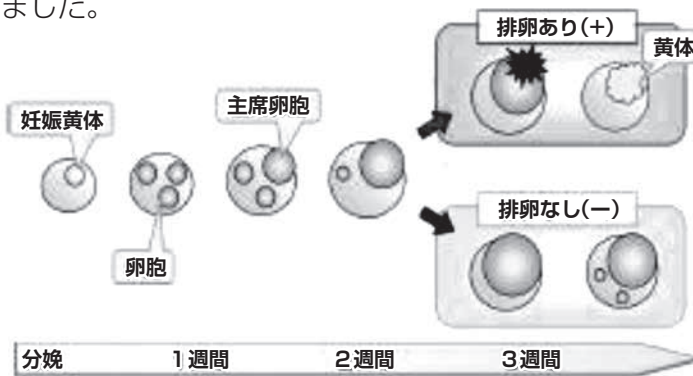


## ■その理由がこちらです!!

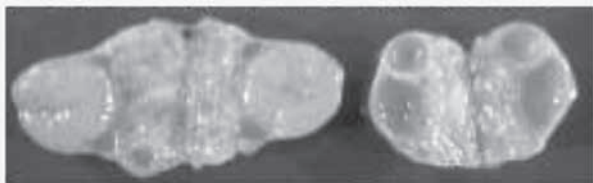
図1は血中β-カロテン濃度の変動を示しています。

分娩後最初の主席卵胞が排卵しなかった牛は、排卵した牛に比べて、分娩3週間前からβ-カロテン濃度が低く推移していることがわかりました。

このことから、分娩前に血中β-カロテン濃度が低い牛は、卵胞発育が悪いと考えられます。また、下記の写真にもありますように、β-カロテンは黄体に多く貯蔵され、その量がプロゲステロン産生に大きく影響致します。



## 黄体中にはβ-カロテンが貯蔵される



発情がくるがとまらない、受胎したと思ったら流れてしまうような牛の多くは、黄体から産生されるプロゲステロン量が少ないと考えられます。是非、β-カロテンを給与して見て下さい。

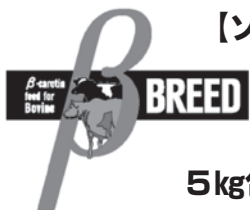
	排卵あり (n=10)	排卵なし (n=12)	有意差
初回AI日 (日)	68.4±8.2	94.8±7.9	P<0.05
100日以内の受胎率 (%)	50.0	16.7	P=0.09
180日以内の受胎率 (%)	71.0	58.3	ns
空胎日数 (日)	110±15	150±11	P<0.05

左の表は、実際にβ-カロテンを給与した際の試験結果です。

乳牛における周産期の血中β-カロテン濃度と分娩後の卵巣機能回復との関連性が明確になりました。

## 『ベータブリードSP』

【ソフトペレット】



5kg包装



是非ゼノアック営業員に  
問い合わせください

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

2019年1月31日現在

区 分	酪農家戸数			乳 牛 頭 数										
	支 所 名 称	戸数 (避難戸数)	前年度 戸 数	前年比	育成	初妊	経 産 牛				合計	前年度 頭 数	前年比	1 戸 当 り頭数
							乾乳 妊娠	妊娠 搾乳	空胎 搾乳	小計				
県 北 支 所	(7)38	41	92.7	%	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	%	頭
県 中 支 所	80	84	95.2		534	122	153	456	917	1,526	2,182	2,148	101.6	57.4
浜 支 所	(34)10	10	100.0		91	28	15	69	131	215	334	336	99.4	33.4
県 南 支 所	44	49	89.8		625	259	259	565	1,049	1,873	2,757	2,908	94.8	62.7
JAふくしま未来(飯館)	(11)0	0	0.0		0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
県 酪 合 計	(52)172	184	93.5		1,602	526	614	1,482	2,989	5,085	7,213	7,375	97.8	41.9

区 分	月 別 分 娩 予 定 頭 数								販 売 乳 量				
	支 所 名 称	2019 2月	2019 3月	2019 4月	2019 5月	2019 6月	2019 7月	2019 8月	生乳 出荷 戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
		頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭		戸	1日当り	1日1戸 当り	搾乳牛
県 北 支 所	91	77	59	58	94	127	225	38	kg	kg	kg	kg	
県 中 支 所	78	97	78	74	82	101	186	80	37,749	993	27.5	24.7	
浜 支 所	7	14	8	16	15	21	31	8	32,850	411	25.6	22.3	
県 南 支 所	139	140	134	113	132	172	253	44	5,495	687	27.5	25.6	
JAふくしま未来(飯館)	0	0	0	0	0	0	0	0	42,814	973	26.5	22.9	
県 酪 合 計	315	328	279	261	323	421	695	170	0	0	0.0	0.0	
									118,909	699	26.6	23.4	

平成30年度受託乳量の状況

平成31年1月の受託乳量は、県全体で前年比95.6%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,687トﾝ、前年比96.5%（対前年同月133トﾝ減）、全農県本部は1,788トﾝの対前年比93.6%（対前年同月123トﾝ減）の実績でありました。東北生乳販連の受託実績については、

前年比98.5%となりました。

東北6県の中で青森県が5,801トﾝ、対前年比105.9%、山形県が5,104トﾝ、前年比103.3%で前年より伸びました。

なお、全国の受託実績は対前年比99.1%となりました。

平成30年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

1月東北全体の用途別販売状況については、加工向けが102.0%と前年を上回り、飲用向けが98.0%、学乳向けが97.9%、醗酵乳向けが99.2%、生クリーム向けが前年比99.8%、チーズ向けが86.6%と前年

を下回り推移した。

なお、今月の酪王乳業の生乳使用量は日量平均50.1トﾝ（前年比102.4%）で、本組合生産量の42.1%、県全体生産量の28.4%を処理しています。

平成30年度1月別支払乳価表

1月分支払乳価については、前年と比べ、飲用向け及び醗酵乳向け・加工向け・生クリーム等向け価格は据え置き、チーズ（ハード）向け4円、チーズ（ソフト）向け5円値上げで取引され、前年対比でプール乳価、補給金、集送乳調整金単価合せて前年より0円05銭8厘下回る単価となりました。

■東北全体プール乳代金 4,411,669千円 単価106.043円  
 ■内 福島県分プール乳代金① 518,018千円 単価106.043円  
 プール対象外乳代金② 85,754千円  
 (学乳向け・買取向け乳代金)  
 合計乳代金①+② 603,772千円 単価110.263円

項目	31年1月	前年同月	増減	前々年同月
プール乳価	104円289	104円390	-0円101	104円600
補給金単価	0円970	1円213	-0円243	1円223
集送乳調整金単価	0円286	0	0円286	0
合計	105円545	105円603	-0円058	105円823

(注)上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

平成30年4月より加工原料乳(加工・生クリーム・チーズ向)に対し、補給金と集送乳調整金の2つに分け支払いをしています。

(東北全体1月)

用途別	販売乳量(トン)	日量(トン)	前年比(%)	シェア(%)
飲用向け	29,999	968.0	98.0	68.6
加工向け	4,491	145.0	102.0	10.3
学校給食向け	2,132	69.0	97.9	4.9
醗酵乳向け	6,429	207.0	99.2	14.7
生クリーム向け	512	17.0	99.8	1.2
チーズ向け	171	6.0	86.6	0.4
合計	43,734	1,411.0	98.5	100.0

備考

1) 買取乳量を除く

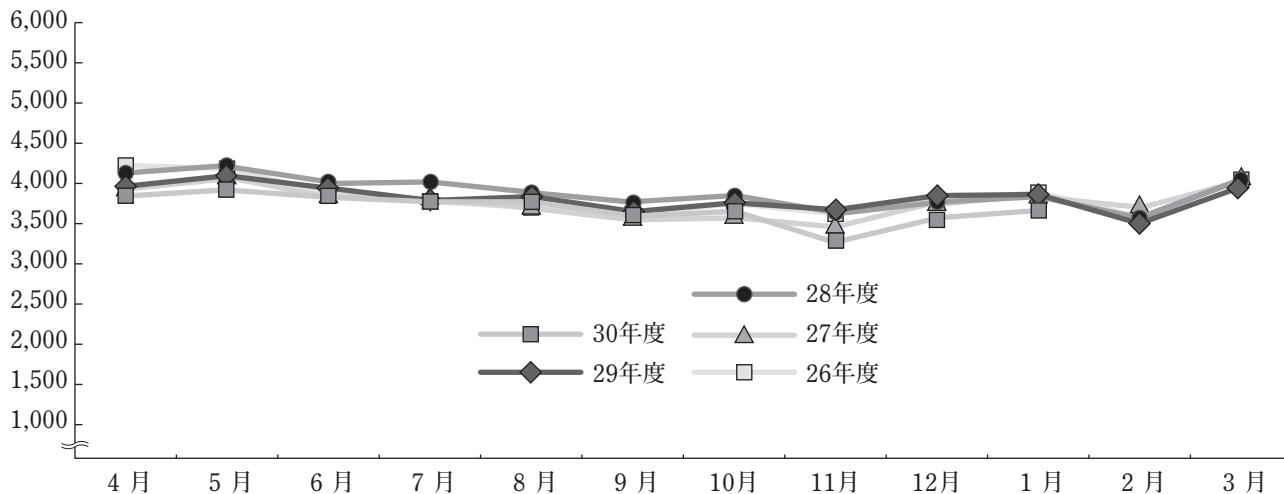
団体別受託乳量の状況

団体名	1月分		
	受託乳量(トン)	日量(トン)	前年比(%)
県酪協	3,687	118.9	96.5
全農福島県本部	1,788	57.7	93.6
合計	5,475	176.6	95.6
東北生乳販連	43,734	1,410.8	98.5
全 国	590,366	19,044.1	99.1

月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26年度	4,148	4,185	3,879	3,775	3,703	3,621	3,749	3,620	3,781	3,886	3,577	4,035	45,959
27年度	3,921	4,061	3,836	3,802	3,658	3,513	3,575	3,486	3,668	3,830	3,708	4,071	45,129
28年度	4,094	4,231	4,025	4,029	3,894	3,717	3,839	3,664	3,822	3,889	3,576	4,031	46,811
29年度	3,958	4,132	3,940	3,880	3,778	3,622	3,740	3,637	3,797	3,820	3,498	3,948	45,750
30年度	3,865	3,927	3,768	3,758	3,757	3,565	3,617	3,385	3,572	3,687			
前年比%	97.7	95.0	95.6	96.9	99.4	98.4	96.7	93.1	94.1	96.5			

単位・トン





年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年 度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
30年度	105.316	106.566	107.245	106.734	104.684	108.041	107.673	107.183	104.902	105.545			
29年度	105.107	106.247	107.367	106.918	104.637	107.789	107.187	107.002	104.876	105.603	106.317	104.647	106.141
28年度	105.156	106.012	106.878	105.825	104.876	107.459	107.162	106.517	104.921	105.823	106.675	104.617	105.993
27年度	105.116	105.882	106.888	105.964	105.240	107.090	107.342	106.859	105.204	105.468	106.726	104.446	106.019
26年度	100.739	102.193	103.829	102.826	101.978	104.278	104.043	104.000	102.000	102.606	103.222	101.321	102.753

## 第280回 県酪協乳牛市場成績

平成31年 2月13日開催

購買者数 16名（うち県外5名）

区分	畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)
ET和牛 初生牛	ET和牛	メス	6 (100)	541,000 266,000	453,500 (101)	90 (81)	5,039 (124)
		雄	13 (92)	628,000 450,000	547,385 (97)	108 (101)	5,050 (96)
	乳 牛	メス	0 (0)	0 0	0 (0)	0 (0)	0 (0)
		雄	57 (95)	173,000 1,000	111,333 (126)	77 (108)	1,447 (116)
	交 雑 牛	メス	57 (100)	261,000 100,000	215,807 (96)	76 (109)	2,857 (88)
		雄	68 (98)	376,000 25,000	289,118 (97)	76 (99)	3,785 (97)

価格：円（落札価格） 率・比：％ 体重：kg

初生牛の畜種毎価格帯別分布表 （0は0.1～0.9万円、1は1.0～1.9万円、以下同様。尚、落札価格です。）

畜 種	雌雄	価 格 帯 (万円)																																					
		23	24	25	26	~	37	38	~	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62												
ET和牛	メス				1				1					1	1		1		1																				
	雄									1				1	2	2	1			1	1				1		3												
乳 牛	雌雄	価 格 帯 (万円)																																					
		0	<1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24												
乳 牛	メス																																						
	雄	5		3	3		1	3	1		1	3	3	1	1	3	5	5	12	7																			
交 雑 牛	雌雄	価 格 帯 (万円)																																					
		<10	~	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39												
交 雑 牛	メス		6	3	2	5	3	2		2	9	13	11	1																									
	雄	1			3	2		2	1	1	1	3	4	1	3	5	2	5	12	9	5			5	1	2													

組 合 の 動 き 2 月

2月1日	酪青連役員・事務局会議	2月21日	酪王乳業(株)取締役会
2月4日	全国酪農協会（酪農会館竣工式）	2月21日	(株)らくのう乳販取締役会
2月5日	日本酪農政治連盟福島県支部連合会定期総会・常任委員会	2月22日	福島県酪農青年研究連盟発表大会
2月12日	酪農政治連盟東北ブロック監査会・総会	2月22日	酪農政治連盟事務局長会議
2月14日	県中支所運営委員会	2月25日	福島県農業会議常設審議委員会・推進協議会総会
2月16日	牛乳普及協会親子ミルククッキング教室	2月26日	東北生販第2回生乳受託販売委員会
2月18日	日本酪農政治連盟監査（本部）	2月27日	第9回理事会
2月19日	内部検査（生産部）	2月27日	監事と代表理事等との定期的会合

理 事 会

第9回 2月27日

議 案

報 告 事 項

- 議案第1号 平成30年度第3・四半期事業実績報告並びに部門別損益報告について
- 議案第2号 平成31年度乳価構成テーブルについて
- 議案第3号 平成31年度細菌数・体細胞数の乳質格差並びに自主規制実施要領について
- 議案第4号 平成31年度高能力乳用雌牛整備事業の実施について
- 議案第5号 働き方改革法の施行に伴う対応について
- 議案第6号 子会社に対する運転資金の貸付について（追加議案）

- 1) 経営検討農家の現状について
- 2) 子会社の平成30年度第3・四半期事業報告について
- 3) 今後の日程について
- 4) 総会までの日程について
- 5) 復興牧場の進捗状況について
- 6) 今後の日程について

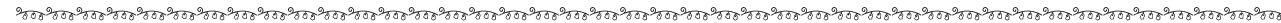


# 平成30年度 牛乳・乳製品利用料理コンクール 福島県大会入賞レシピ



## 夏野菜とチーズ入りホワイトカレー肉まん

桜の聖母短期大学  
梅寺 樹さんの作品



### ●●● 材 料 ●●●

(材料:4人分)

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| ・トマト (A) …………… 1個   | ・塩こしょう …………… 適量       |
| ・玉ねぎ (A) …………… 1/4個 | ・ホットケーキミックス (皮) …………… |
| ・なす (A) …………… 1/4個  | …………… 200g            |
| ・とうもろこし …………… 1/3個  | ・つるむらさき (皮) …… 5束     |
| ・ひき肉 …………… 70g      | ・牛乳 (皮) ……………         |
| ・カレールー (B) …………… 2片 | …………… 大さじ4 (60ml)     |
| ・牛乳 (B) …………… 190ml | ・オリーブオイル …… 小さじ1      |
| ・とろけるチーズ …… 50g     |                       |

### ●作り方

- ① 皮：つるむらさきは、塩をいれたお湯で茹でる。
- ② ①をフードプロセッサーで細かくしボウルに皮の材料を入れ、混ぜる。
- ③ 具：Aを細かく切る。Bを混ぜておく。
- ④ 具：ひき肉を炒めAを加える。火が通ったらBを加え、塩こしょうで味を整える。
- ⑤ 皮を分け、正方形に広げる。具とチーズをのせ包む。
- ⑥ フライパンに包んだ肉まんと適量の水を入れ蒸す。



HMだから簡単!!  
緑色の肉まんの中にまるやかなカレーとフレッシュな野菜が隠される!!



### 『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由 (ほっと(^o^))する話題がいいですね)
  - ◎文章だけでも結構です。
  - ◎写真があると最高です。
2. 受付 (常時受け付けています)
  - メール・FAX・支所経由・直接持参、何でもOKです。
  - E-mail : [yuuki-saitou@fukuraku.or.jp](mailto:yuuki-saitou@fukuraku.or.jp)・FAX0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 岡 正宏

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里塚17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL <http://www.milk.fukushima.jp>